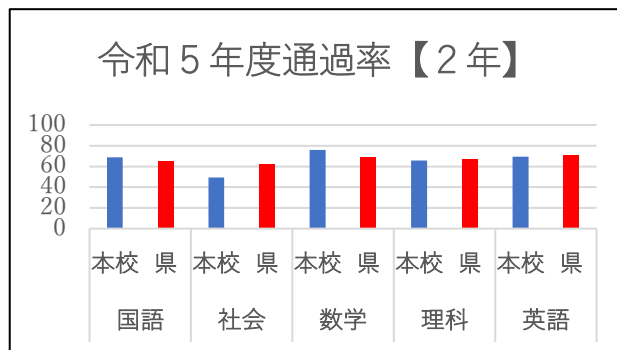
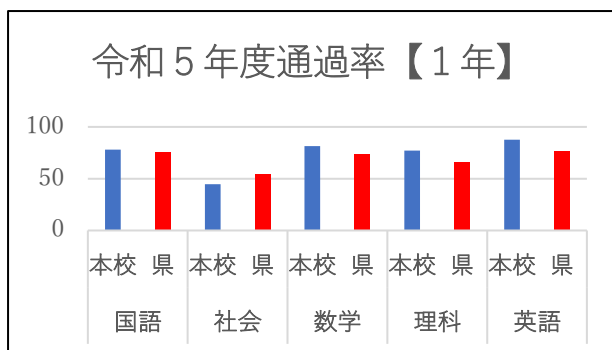


令和5年度 鹿児島学習定着度調査の結果と今後の取組等について

鹿児島市立吉田北中学校

1 令和5年度 鹿児島学習定着度調査の結果



2 今後の取組等について

【国語】

1、2年生ともに、県の通過率をやや上まわっている。

「書くこと、話すこと、聞くこと」に対する苦手意識が強い。そこで、授業においては、丁寧な読み取りができるように心掛けるとともに、言語活動を通して指導事項を身に付けることができるような授業を展開していきたい。また、図や表を活用して話の構成や展開を捉えることができるような活動を意図的に設定していきたい。

【社会】

1、2年生ともに、県の通過率を下まわっている。

地理的分野・歴史的分野ともに、基礎的・基本的事項の定着が不十分である。デジタルドリルやワーク、単元テスト等を効果的に活用して、基礎学力の向上を図りたい。また、個に応じた指導を徹底するとともに、課題解決的な授業づくりにも積極的に取り組み、思考力・判断力・表現力を育成できるように努めたい。

【数学】

1、2年生ともに、県の通過率を上まわっている。

全体的に通過率は高く、基本的な学習内容が定着している生徒は多いが、学力の差が大きい。そこで、個に応じた指導を徹底するとともに、基礎学力の定着している生徒については、基本的な概念を根拠に、数学的に分析して考察したり、表現したりすることができるように、発展的な学習にも取り組ませていきたい。

【理科】

1年生は、県の平均を大きく上まわるが、2年生はやや下まわっている。

グラフや表を読み取ったり、与えられた条件に対し、学習した内容を踏まえて考えたり、自分の考えをまとめて表現したりすることについて課題がある。そこで、デジタルドリルや小テストを活用して基礎的・基本的内容の定着を図るとともに、実験・観察では、予想や考察に対して、自分の考えを図や表、文章で表現したり、説明したりする活動を多く取り入れていくように努めたい。

【英語】

1年生は、県の平均を大きく上まわるが、2年生はやや下まわっている。

1年生では、基本的な語句や文法の理解については概ね定着しているが、対話文やまとまりのある英文を読み内容を捉えることや場面・状況等に応じて必要な情報を書くことには課題がみられる。そこで、文法規則や語彙等の知識を習得させるだけではなく、「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の4技能が統合された活動を授業の中に取り入れていきたい。

2年生では、基本的な語句や文法事項の定着が不十分なため、「正確に書くこと」について課題がみられる。そこで、基本的な語句や文法事項の定着を図り、その知識・技能を活用する機会を多く設定し、繰り返しコミュニケーション活動を行う中で定着を図っていきたい。